

2015年度
情報処理学会
東海支部報告会

日時：2015年5月18日（月）15:00～15:50
場所：ホテル ルブラ王山

次 第

I. 開会の辞

II. 支部長挨拶

III. 報告事項

1. 2014年度事業報告
2. 2014年度決算報告
3. 2015年度運営委員改選結果報告
4. 2015年度運営委員
5. 2015年度事業計画
6. 2015年度予算
7. その他

IV. 閉会の辞

一般社団法人情報処理学会東海支部

事務局

〒460-0003

名古屋市中区錦2-17-21 NTTDATA伏見ビル内

TEL：(050)5556-2856 FAX：(052)204-4783

E-mail：shibu@ipsj-tokai.jp

1. 2014年度事業報告

1.1 支部報告会

2014年5月19日(月) ホテルルブラ王山

参加者28名(開催時出席者)

1.2 運営委員会

第1回 2014年 5月19日(月) ホテルルブラ王山

参加者 25名

第2回 2014年12月 3日(水) 東桜会館 第2会議室

参加者 20名

第3回 2015年 5月18日(月) ホテルルブラ王山

1.3 幹事会

第1回 2014年 4月 3日(木) 名古屋工業大学2号館11階ラウンジ 参加者 14名

第2回 2014年 6月12日(木) 名古屋工業大学2号館11階ラウンジ 参加者 9名

第3回 2014年10月10日(金) 名古屋工業大学2号館11階ラウンジ 参加者 10名

第4回 2014年11月21日(金) 名古屋工業大学2号A棟209A 参加者 10名

第5回 2015年 2月26日(木) 中電シーティーアイ東桜第一ビル応接会議室

参加者 10名

1.4 電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会 主催1回

※平成26年度より大会名称を変更(旧名称:電気関係学会東海支部連合大会)

1.4.1 大会の概要

(1) 期 日: 2014年9月8日(月)、9日(水) 2日間

(2) 会 場: 中京大学名古屋キャンパス 1号館

(3) 主担当学会: 情報処理学会東海支部

(4) 主 催: 電気学会東海支部、電子情報通信学会東海支部、情報処理学会東海支部、
照明学会東海支部、映像情報メディア学会東海支部、日本音響学会東海支部、
IEEE名古屋支部

共 催: 電気設備学会中部支部、中京大学

(5) 特別講演1件、合同シンポジウム1件、シンポジウム3件、一般講演、企業展示、懇親会
・特別講演1件

演題: 「トヨタのIT・ITS - いいクルマづくりを支えるIT技術」

講師: 大島 哲也 氏(トヨタ自動車株式会社 常務理事)

・合同企画シンポジウム(1件)

テーマ: 『ものづくりを支える電気・電子・情報技術』

オーガナイザ: 小川 泰弘 氏(名大)

オーガナイザ: 関 健太 氏(名工大)

オーガナイザ: 佐藤 和夫 氏(豊田中央研究所)

オーガナイザ: 西田 直樹 氏(名大)

・シンポジウム(3件)

S1. 情報処理学会企画

テーマ: 「実世界データ循環学 ~新しい社会的価値の創造に向けて~」

座長・オーガナイザ: 平山 高嗣 氏(名大)

S2. 電子情報通信学会企画

テーマ: 「集団人物行動の計測と分析」

座長・オーガナイザ: 瀧 剛志 氏(中京大)

S3. 電気学会企画

テーマ: 「環境調和を目指したエネルギー材料の最前線」

座長・オーガナイザ：吉田 隆氏（名大）

(6) 奨励賞

奨励賞選考数（奨励賞＋電気学会B賞＋IEEE学生奨励賞） 合計：45名
（平成25年度48名、平成24年度50名、平成23年度40名）
審査希望申請者数 合計：439名
（平成25年度483名、平成24年度500名、平成23年度396名）

情報処理学会所属受賞者

連合大会奨励賞 8名

向井 洋介（三重大）「Fundamental evaluation of the OFDM based cooperative communication scheme with SDR」
中野 克哉（名工大）「部分提携の利得減少に着目した
ロバストな提携構造形成問題について」
河地 玄（名大）「日本法令の情報発信に向けた法令のあらましの文書構造化」
渡邊 正人（名工大）「テレパシー・ジェスチャー： Bluetoothビーコンを用いた
新しいユーザインタフェースの提案」
西脇 雅幸（名大）「アウトラインに基づく研究紹介ビデオの構造化と制作支援」
山田 貴之（名城大）「VpnServiceを用いたスマートフォン向けNTMobileの
IPv6対応に関する検討」
村上 一樹（三重大）「接続先ノードを限定したメッシュ型ALMの修復手法の評価」
早瀬 光浩（豊橋創造大）「動画像からの特徴的な顔表情抽出の一手法」

IEEE学生奨励賞 4名

伊藤 圭亮（三重大）「低消費電力マイコンを想定した移動透過及び
通信接続技術の研究」
中西 健人（三重大）「Arduinoを用いたセンサネットワークデバイスの検証」
桐ヶ谷 慧（愛工大）「学習オントロジーを利用した過去問抽出システム」
伊美 裕麻（名工大）「オンラインファシリテーションに基づく
大規模合意形成システムの開発と名古屋市での意見集約」

1.4.2 大会参加

- ・一般講演 563件（オーラル：483件、ポスター：80件）
（平成25年610件、平成24年度649件、平成23年度672件）
- ・企業展示 12社（平成25年度3社、平成24年度3社、平成23年度5社）
- ・広告・援助企業数 49社（平成25年度29社、平成24年度31社、平成23年度47社）
- ・特別講演参加者数 260名（平成25年度126名、平成24年度133名、平成23年度172名）
- ・懇親会参加者数 119名（平成25年度92名、平成24年度92名、平成23年度55名）
- ・大会参加者数 1255名（平成25年度963名、平成24年度1107名、平成23年度1123名）

1.4.3 情報処理学会東海支部所属委員

■大会委員会

委員長：木村文隆（三重大）
庶務幹事：打矢隆弘（名工大）・磯 直行（中京大）
会計幹事：武田 治（中電）

■実行委員会

委員長：輿水大和（中京大）
副委員長：田中孝明（中電シーティーアイ）
幹事：打矢隆弘（名工大）・磯 直行（中京大）・武田 治（中電）

委員：小川泰弘（名大）・北坂孝幸（愛工大）

事務局：中谷正美（情報処理学会東海支部）

■現地委員会

委員長：輿水大和（中京大）

幹事：磯 直行（中京大）

■プログラム編集委員会

委員長：木村文隆（三重大）

幹事：打矢隆弘（名工大）・北坂孝幸（愛工大）

委員：小川泰弘（名大）・加藤昇平（名工大）・嶋田 創（名大）・
梶岡慎輔（名工大）

・大会委員会

第1回 第1回実行委員会合同

第2回 メール審議

第3回 第4回実行委員会合同

・実行委員会

第1回 2014年4月3日（木）名古屋工業大学 2号館 209A会議室
議題：開催日程・実施概要他

第2回 2014年8月6日（水）名古屋工業大学 2号館 209A会議室
議題：大会プログラム

第3回 2014年9月9日（火）中京大学名古屋キャンパス1号館153教室（H会場）
議題：大会運営

第4回 2015年1月20日（火）ルブラ王山
議題：事業決算報告・奨励賞贈呈

・プログラム編集委員会

2014年7月14日（火）名古屋工業大学 2号館 209A会議室

1.5 講演会 7回（主催7回）

(1) 2014年5月19日（月）

演題：「シリコンバレー最新ITトレンド

～Hitachi Solutions Americaの活動内容ご紹介～」

講師：市川 博一氏（Hitachi Solutions America, Ltd.

Business Development Alliances Group Business Development Manager）

於：ルブラ王山 金鯪の間

参加者 43名

コメント：本講演では、アメリカ・シリコンバレーにおける今年のトレンドキーワードである

Internet of Things (IoT)について解説を頂いた。IoTの事例として、モバイル、ウェアラブルデバイス、ドローン、コネクティッド・カーという4つのカテゴリーにおけるスタートアップ企業や活用事例を基に、大変分かりやすく最近のトレンドをご紹介頂いた。モバイルやウェアラブルは、ユビキタスという言葉が流行った10年以上前から注目されていたが、Google GlassやSmart Watchの登場など、当時の“近未来”がようやく現実になりつつあると実感できた。スタートアップ企業はアメリカGDPの25%を算出しているそうだが、毎年新規登録される約1万5千社のうち、ほんの一握りの企業だけが成功（多くは大手とのM&A）しているという現実も興味深かった。

(2) 2014年7月4日（金）

演題：「モバイル空間統計と社会の頭脳システム」

講師：越智 大介氏（株式会社N T T ドコモ先進技術研究所）

於：名古屋工業大学 23号館 2311講義室

参加者 50名

コメント：本講演会では、NTTドコモ先進技術研究所でモバイル空間統計に基づく人口統計システムの開発を担当されていた越智氏に、モバイル空間統計及びビッグデータ処理技術について講演して頂いた。講演ではまず、モバイル空間統計とは「携帯電話が在圏している基地局エリア情報を基に時間帯別・エリア別に推計する人口統計」であることを説明頂いた。そして、具体例として、スポーツイベントにおける会場周辺の人口分布や男女別構成、年齢層別構成が分析可能であることが示された。またこれまでの取り組みとして、公共分野においては、防災計画・地域活性化・まちづくりにモバイル空間統計が活用されつつあることが紹介された。続いて、モバイル空間統計を2013年10月1日から実用化し、現在は民間でも活用されていること、主に店舗支援(出店計画・品揃え計画・広告/販促検証)で使用されていることが紹介された。まとめとして、モバイル空間統計によって「必要な場所に必要なもの」を提供することが可能になり、より安心・安全で便利な社会の実現に貢献していきたいと述べられた。

次のトピックであるビッグデータ処理技術に関する話題では、ビッグデータ処理の歴史とテクノロジー、分析対象の説明を頂いた。テクノロジーの説明では、複数のPCを組み合わせることで1つのファイルシステムに見せる技術や、複数のPCに計算処理を分散させて並列実行させる技術について、その仕組みを丁寧に説明頂いた。また分析対象では、現在、購買情報・Web閲覧情報・位置情報の分析に活用されていること、そして今後は、生体情報の分析/ゲノム解析に応用されていくと述べられた。

モバイル空間統計やビッグデータ処理が公共分野・民間分野で広く活用されていること、また将来性が感じられる内容であった。会場には学生/社会人合わせて50名の聴講者が集まり、講演会終了後の質疑も大変活発であった。

(3) 2014年9月27日(土)

演題：「RoboCup2017名古屋に向けて」

講師：伊藤 暢浩 氏(愛知工業大学情報科学部准教授, ロボカップ日本委員会理事)

於：愛知工業大学本山キャンパス3階306室 参加者 16名

コメント：Robocupの立ち上がりから、現在、そしてこれからのRobocupについて分かりやすくご解説頂いた。現在、Robocupは、Robocupサッカー、Robocupレスキュー、Robocup@Homeの3つの競技から成っている。競技として競う側面に加え、学術の新規性や社会貢献に重きが置かれている。実際、東日本大震災やワールドトレードセンターにおいてロボットが活躍している。

2013年度の世界大会には、40か国から2,500人以上の参加者、40,000人以上の来場者があった。また、大会運営の裏側や各大会の裏話なども交えて楽しく、興味深い内容だった。今後の世界大会は、2015年合肥(中国)、2016年ライプチヒ(ドイツ)が決定している。2017年の開催地として名古屋が立候補しており、オーストラリアとの一騎打ちのようだ。是非、名古屋で開催が決まることを祈念して、本報告とさせていただきます。

(4) 2014年10月22日(水)

演題：「企業における自然言語処理技術の活用の現場」

講師：海野 裕也 氏(株式会社 Preferred Infrastructure
知的情報処理部門 副事業部長)

於：名古屋大学東山キャンパス IB電子情報館中棟 IB014 講義室 参加者 36名

コメント：本講演会では、ベンチャー企業で自然言語処理(NLP)の研究に携わる海野氏に、NLPの技術を実際のビジネスの場でどのように使用しているか、についてお話しいただきました。NLPでビジネスを作るという文脈で考えると、これまではあまり大きな成功を収めておらず、実用的なのは日本語入力くらいでした。たしかに文書検索や評判分析と言った技術は使用されてきていましたが、それらは大きなサービスの裏側での補助的な役割が多かったと思われます。しかし近年、音声入力、情報収集アプリや機械翻訳

などが急に注目され、一般の人が使うようになってきました。

この講演では、NLPを取り巻く環境の変化に着目し、その原因を三つの観点から分析されております。まず一つは「データの変化」であり、データが多様化・大規模化していることから、それらを分析するニーズが高まっている点が指摘されました。二つ目は「デバイスの変化」であり、スマートフォンの普及など、デバイスの変化に合わせて技術の重要度が変わるが、テキストは人間とのインターフェイスとして依然として重要である点が指摘されました。三つ目は「技術の変化」で、今話題のディープ・ラーニングを始めとして、NLPは過去に多くの外部技術を取り込んできた点と、その上でソフトウェアの成熟が重要であると述べられました。

こうした分析の中で、様々な技術とその応用例が示され、非常に興味深い講演でした。

また参加者からの質疑応答も活発でした。

なお、本講演のスライドは海野氏自身が以下のページで公開されています。

<http://blog.unnono.net/2014/11/ipsjlingnlp.html>

(5) 2014年11月5日(水)

演題：第1部「DNSセキュリティの基礎」(学生，一般向け)

第2部「DNSセキュリティの現状」(研究者向け)

講師：鈴木 常彦 氏 (中京大学工学部教授，株式会社リフレクション)

於：中京大学 名古屋キャンパス

1号館(図書館・学術棟) 1階 グループ学習室1 参加者 (第1部) 48名
(第2部) 44名

コメント：本講演会では、インターネットの実運用に詳しい鈴木常彦氏(中京大学工学部教授，株式会社リフレクション)に「DNSセキュリティ」について2部構成でご講演いただいた。第1部，第2部とも大変多くの来場者があり，40席の会場に臨時席を設けての開催となった。第1部は学生及び一般向けの講演で，まずDNSの動作を説明する5分間の基本レクチャーから始まり，様々なDNSの毒入れ(毒盛り，ポイズニング)について丁寧に解説いただいた。休憩をはさんで再開した第2部では，研究者向けとして，近年のDNS毒入れについてさらに詳細に解説いただいた。委任インジェクション，移転インジェクションによる各種ゾーンの乗っ取りと，キャッシュサーバ，コンテンツサーバに対する対策等について解説いただいた。第2部を通して，現在のインターネットは良い状態ではなく，また，公的機関が適切な警告や注意喚起が行われないまま運用されつづけていることについて力説されていた。

講演の際に使用されたプロジェクタ画像は次からダウンロード可能である。

第1部：<http://www.e-ontap.com/dns/ipsj-tokai.pdf>

第2部：<http://www.e-ontap.com/dns/ipsj-tokai2.pdf>

なお，本講演会は，中京大学第7回工学部・第43回情報理工学部学術講演会コロキウムとの共催で実施された。

(6) 2014年12月3日(水)

演題：質問応答システム～最新動向と開発事例～

講師：瀬川 修氏(中部電力(株) エネルギー応用研究所

お客さまネットワークG情報通信チーム)

於：東桜会館1階 第2会議室

参加者 28名

コメント：中部電力株式会社 エネルギー応用研究所 お客さまネットワークG情報通信チーム 瀬川修氏により，質問応答システムの概論，技術動向，開発事例および将来展望について，講演頂いた。

まず，質問応答システムの概論および歴史について説明頂いた。特に近年の応用技術(NTTしゃべってコンシェル，Siri等)への適用・発展が目まぐるしく，その背景には国内・外の評価ワークショップ「研究者がコンペ形式で参加する」といった

取り組みがポイントとなっていることを確認した。

また、最新技術動向においては、IBMが取り組んでいるGland Challengeや国際的な取り組みであるチューリングテストの事例をご紹介頂いた。まず、Gland Challengeにおいては、質問応答システムの要素技術や自然言語の処理を駆使し、米国のクイズ王に勝利するといった成果があがっているということ。また、チューリングテストにおいては、対話型の応答において、人間か機械か判別できないレベルに到達しつつあることを確認した。

次に開発事例においては、企業内のOAヘルプデスク過去事例検索システムを、ご紹介いただいた。技術変革の成果が、身近なところに取り込まれつつあることを確認した。

瀬川氏からは、こうした言語処理・質問応答システムが発展し人間の「外部脳」として機能するようになると、暗記・記憶といったレベルでは無く、発想・創造の領域で人間の価値を発揮していく時代が来るという提言があった。講演会場の関係で学生参加者が少なかったが、是非若手研究者に聴講して頂きたい内容であった。

(7) 2015年1月30日(金)

演題：「OSS とクラウドの徹底活用による先進的な IT 基盤へのチャレンジ」

講師：今井 孝雄 氏 (株) デンソー ITソリューションズ 代表取締役社長)

於：名古屋工業大学23号館2311講義室

参加者 46名

コメント：デンソーは、1970年代に立ち上げたメインフレームベースの各種業務系システム(人事関連システム、生産管理システム、技術システム、etc)の刷新を進めている。システム刷新するにあたりデンソー ITソリューションズは、新システムがベンダー依存(選定するハード/ソフト、開発者、etc)とならぬよう、2つのこだわりを持って進めている。①世の中の標準技術(OSS、クラウドなど)を採用する、②外部委託先に頼らず社員がシステム開発する。講演後、環境変化(ベンダー依存からの脱却、など)に対するデンソー ITソリューションズ内の社員の意識変革、に関する苦労話にQAが集まった。トップ自らITが好きであり、トップダウンで率先垂範すること、が意識改革のカギである、と解説した。

1.6 研究会他 9回(協賛9回)

(1) 2014年9月27日(土)

日本オペレーションズ・リサーチ中部支部第11回シンポジウム

「今なら解ける!問題解決のための最適化技術」

(協賛、主催：日本オペレーションズ・リサーチ学会 中部支部)

(2) 2014年10月21日(火)、22日(水)

フロンティア21エレクトロニクスショー2014

(協賛、主催：中部エレクトロニクス振興会)

(3) 2014年10月31日(金)

ソフトウェアテストシンポジウム 2014東海 (JaSST'14 Tokai)

(協賛、主催：特定非営利活動法人 ソフトウェアテスト技術振興協会
JaSST'14 Tokai 実行委員会)

(4) 2014年11月11日(火)

プロジェクトマネジメント学会 中部支部シンポジウム

(協賛、主催：プロジェクトマネジメント学会 中部支部)

(5) 2014年11月20日(木)

Christian Huemerセミナー

「Inter-organizational Systems(IOS) The challenges we face」
(協賛、主催：名古屋工業大学伊藤孝行研究室)

(6) 2014年11月29日(土)

「情報学ワークショップ(WiNF 2014)」

(協賛、主催：静岡大学大学院情報学研究科、静岡大学情報学部)

(7) 2014年12月9日(火)

Sébastien Lahaie セミナー

「A Combinatorial Prediction Market for the US Elections」

(協賛、主催：名古屋工業大学伊藤孝行研究室)

(8) 2015年3月13日(金)

第5回 ITトレンド・フォーラム

「トヨタのCADの歴史を語る - トrendを掴むには -」

(協賛、主催：一般社団法人「持続可能なモノづくり・人づくり支援協会(ESD21)」)

(9) 2015年3月19日(木)

平成26年度専門講習会 『生活支援ロボットの実現に向けて』

(協賛、主催：電子情報通信学会 東海支部)

1.7 学生研究発表会助成

複数の大学からの学生が研究発表を通して互い研鑽を積む場を提供することを目的とする研究発表会に参加する学生を支援します。

・実施概要

申請対象者：情報処理学会東海支部正会員

助成対象発表会：2014年3月1日～2015年2月28日の間に開催される研究発表会

助成件数・金額：数件、総額10万円以内

申請期間：2014年3月1日～2015年2月28日

・申請・助成：1件

① 「WiNF2014 第12回情報学ワークショップ」

開催日：2014年11月29日(土)、助成額：5万円

1.8 学生論文奨励賞

情報処理学会東海支部に所属する学生会員(卒業後1年未満の会員も含む)で、情報処理に関する学問や技術の分野において優秀な成果をあげ、その将来を嘱望される方に学生論文奨励賞を贈呈する。

募集期間：2015年1月15日(木)～3月15日(日)

選定委員会：2015年4月16日(木) 名古屋工業大学2号館11階ラウンジ

表彰式：2015年5月18日(月) 於：ホテルルブラ王山

授賞者：8名 氏名(申請時所属) 『論文タイトル』

あだち はじめ
足達 元 (名城大)

『Estimation of Bus Traveling Section Using Wireless Sensor Network』

いわい りょう
岩井 亮 (名工大)

『探索の停滞に応じてパラメータを再設定する Differential Evolution on Scattered Parents』

うえはら ゆうと
上原 悠永 (愛工大)

『擬似的三次元コピーの生成とインタラクションの実現方法』

おくむら かおり
奥村 香保里 (名工大)

『プライバシー情報を登録する利用者の安心感の要因に関する調査』

こい 偉
呉 偉 (名大)

『Min-Max Regret 基準の一般化割当問題に対する解法』

さかした たくや
坂下 卓弥 (信州大)

『静的解析による Android パーミッションの利用目的の可視化方法』

みずかみ たかまさ
水上 貴晶 (愛工大)

『センサ主導の無意識参加型センシングシステムの基礎設計』

むらかみ こうだい
村上 航大 (静大)

『Improving the spatial reuse of IEEE 802.11 WLAN by adaptive carrier sense threshold of access points based on node positions 』

(五十音順)

1.9 情報処理学会学生無料トライアル会員制度について

拠点校3校（名古屋大学・名古屋工業大学・静岡大学）に特化しての学生無料トライアル制度を、2015年度から「ジュニア会員制度」として全国に拡大し、年齢制限を引き下げて試行することになった。

2.2014年度決算報告

2.1 収入の部

(単位：円)

2014年4月1日～2015年3月31日

収入科目	2014年度(平成26年度)	
	予算額	決算額
交付金	3,154,000	2,977,000
本部交付金(ア)	2,654,000	2,457,000
賛助金還元分(ア)	500,000	520,000
連合大会 収入	900,000	1,067,939
利息	100	27
前年度繰越金	1,430,057	1,430,057
計	5,484,157	5,475,023

2.2 支出の部

支出科目	2014年度(平成26年度)	
	予算額	決算額
1. 事業費	2,670,000	2,019,973
支部連合大会費	1,100,000	1,155,917
講演会・研究会費	680,000	227,311
支部助成金費	100,000	50,000
支部表彰費	180,000	155,889
年次報告会費	360,000	265,310
会議費	250,000	165,546
2. 事務費	1,965,000	1,942,391
通信費	10,000	9,818
消耗品費	20,000	9,031
郵便運搬費	10,000	5,246
雑費	5,000	216
事務委託費	1,920,000	1,918,080
3. 予備費	849,157	
4. 次年度繰越金		1,512,659
計	5,484,157	5,475,023

(ア) 2014年度(平成26年度)決算額の本部交付金、賛助金還元分は、2015年3月31日現在の会員数(正会員1,114名、学生会員275名、賛助会員26社)にて決定。予算額は2014年3月31日現在の会員数(正会員1100名学生会員326名・賛助会員25社)にて算定したものである。

※2015年度(平成27年度)決算額は2016年3月31日現在の会員数に応じて決定する。

4. 2015年度運営委員

(*新任、**再任、無印2年目)

役職		氏名	所属
支部長	*	田中 孝明	中電シーティーアイ
副支部長	*	興水 大和	中京大学
幹事		小川 泰弘	名古屋大学
〃	*	加納 政芳	中京大学
〃		北坂 孝幸	愛知工業大学
〃		陶山 利典	デンソーITソリューションズ
〃	*	塚田 英樹	中部電力
〃	*	武藤 敦子	名古屋工業大学
委員	**	浅井 徹	あいち産業科学技術総合センター
〃	*	石川 佳治	名古屋大学
〃		五十川 和哉	トヨタ自動車
〃	*	板井 陽俊	中部大学
〃	**	伊藤 憲生	OKI ソフトウェア
〃		小形 真平	信州大学
〃	*	亀谷 由隆	名城大学
〃	*	栗山 繁	豊橋技術科学大学
〃		鈴木 敦	メイテツコム
〃	*	鈴木 秀智	三重大学
〃	*	綱川 隆司	静岡大学
〃	**	東道 徹也	デンソー
〃		長屋 匡紀	中部電力
〃		原山 美知子	岐阜大学
〃		本谷 秀堅	名古屋工業大学
〃	*	松河 剛司	愛知工業大学
〃		山田 雅之	中京大学
〃	*	山本 晋一郎	愛知県立大学
〃	**	吉澤 明芳	萩原電気
〃	*	吉田 敦	南山大学
支部長補佐	*	長瀬 進治	中電シーティーアイ

(五十音順)

5. 2015年度事業計画

5.1 支部報告会 2015年5月18日(月) ホテルルブラ王山

5.2 運営委員会 3回

第1回 2015年 5月18日(月) ホテルルブラ王山

第2回 2015年12月上旬(予定)

第3回 2016年 5月(予定)(2016年度支部報告会開催日)

5.3 幹事会 5回

第1回 2015年 4月 6日(木) 名古屋工業大学2号館11階ラウンジ

第2回 2015年 6月 15(月) 名古屋大学開催

第3回 2015年10月 上旬(予定)

第4回 2015年11月 中旬(予定)

第5回 2016年 2月 中旬(予定)

5.4 支部大会(電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会として)

・期 日:2015年9月28日(月)、29日(火)2日間

・会 場:名古屋工業大学 御器所キャンパス

・主担当学会:電子情報処通信学会東海支部

・情報処理学会東海支部からの委員選出

■大会委員会

委員 : 田中 孝明(中電シーティーアイ)

■実行委員会

委員 1名:小川 泰弘(名大)

事務局2名:長瀬 進治(中電シーティーアイ)・中谷 正美(情報処理学会)

■プログラム編集委員会

委員7名 : 小川 泰弘(名大)・加納 政芳(中京大)・武藤 敦子(名工大)・
打矢 隆弘(名工大)・伊藤 宏隆(名工大)・村田 匡輝(豊田高専)
森崎 修司(名大)

・大会の概要

(1) 特別講演

日 時:2015年9月28日(月)

演 題:「(仮)文化を守る」

講 師:公益財団法人 徳川 黎明会会長・徳川美術館館長 徳川 義崇 氏

会 場:名古屋工業大学 5111講義室

(2) 合同企画シンポジウム 1件

テーマ:「個性に寄り添う知的支援の科学技術」

オーガナイザ:山里 敬也 氏 (名古屋大学)

セッションオーガナイザ(電気):井上 真澄 氏(名城大学)

セッションオーガナイザ(電子):山里 敬也 氏(名古屋大学)

セッションオーガナイザ(情報):榎堀 優 氏(名古屋大学)

(3) 電気・電子・情報企画シンポジウム・チュートリアル 3件

(電気) テーマ:「若手研究者が拓く次世代ロボティクス技術」

オーガナイザ:関 健太 氏(名古屋工業大学)

(電子) テーマ:「無線電力伝送の要素技術と応用」

オーガナイザ:平山 裕 氏(名古屋工業大学)

(情報) テーマ：「大学生生活の未来を創造する情報技術」
オーガナイザ：武藤 敦子 氏 (名古屋工業大学)

(4) 一般講演 (公募)

(5) 懇親会

日 時：2015年9月28日 (月)
会 場：名古屋工業大学内

(6) 企業展示

・ 連合大会会議

(1) 第1回大会委員会・第1回実行委員会：2015年4月2日 (木)
名古屋工業大学19号館1階会議室

議 題：1. 実行委員会構成
2. 開催日及び準備日程
3. 実施概要・大会予算
4. 講演募集案内
5. 奨励賞
6. その他

(2) プログラム編集委員会：2015年7月30日 (木) 予定

(3) 第2回大会委員会：2015年8月上旬 (メール審議)

(4) 第2回実行委員会：2015年8月24日 (月) 予定

(5) 第3回実行委員会：2015年9月29日 (火) 大会二日目

(6) 第3回大会委員会・第4回実行委員会：2016年1月20日 (水) 予定

・ 大会の運営

名 称：「電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会」

主 催：電気学会東海支部、電子情報通信学会東海支部、情報処理学会東海支部、
照明学会東海支部、映像情報メディア学会東海支部、日本音響学会東海支部、
IEEE名古屋支部

共 催：電気設備学会中部支部・名古屋工業大学

規 則：電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会規約 (平成26年2月28日改定)

事務局：平成27年度電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会事務局
〒460-8319

名古屋市中区大須 4-9-60 NTT 上前津ビル 5F 南

設備部 設備企画担当内

TEL：052-265-5949

E-mail：jimukyoku@tokai-section.org

・ 次年度以降

平成28年度

会 場 校：豊田工業高等専門学校

期 日：未定

主 担 当 学 会：電気学会東海支部

平成29年度

会 場 校：未定

期 日：未定

主 担 当 学 会：情報処理学会東海支部

5.5 講演会 主催7回

- (1) 2015年5月18日(月) 報告会特別講演
演題：「乗物酔の人間情報学- 発症原因と軽減技術-」
講師：井須 尚紀 氏 (三重大学大学院工学研究科情報工学専攻 教授)
於：ホテルルブラ王山
- (2) 2015年7月22日(水)
演題：「医療における自然言語処理応用 ～ビッグデータからディープデータまで～」
講師：荒牧 英治 氏 (京都大学 学際融合教育研究推進センター
デザイン学ユニット 特定准教授/JSTさきがけ研究員)
於：名古屋大学東山キャンパスIB電子情報館中棟 IB014講義室

※上記を含め7回開催予定

※海外を含む、遠方からの講師を招聘する講演会の計画を検討(年1回程度)

5.6 研究会 随時

- (1) 2015年11月11日(水)・12日(木)
「フロンティア21エレクトロニクスショー2015」
(協賛、主催：中部エレクトロニクス振興会)

5.7 学生研究発表会助成

学生研究発表会助成は、複数の大学からの学生が研究発表を通して互い研鑽を積む場を提供することを目的とする研究発表会に参加する学生を支援します。

・実施概要

申請対象者：情報処理学会東海支部正会員

助成対象：2015年3月1日～2016年2月29日の間に開催される研究発表会

助成件数・金額：数件、総額10万円以内

申請期間：2015年3月1日～2016年2月29日

5.8 学生論文奨励賞

情報処理学会東海支部に所属する学生会員(卒業後1年未満の会員も含む)で、情報処理に関する学問や技術の分野において優秀な成果をあげ、その将来を嘱望される方に学生論文奨励賞を贈呈する。

・実施概要

申請期間：2016年1月中旬～3月中旬

選定委員会：2016年4月中旬

表彰式：2016年5月予定(支部報告会開催日)

5.9 おもしろ科学教室

第8回おもしろ科学教室

開催日：平成28年1月11日(月) 成人の日

会場：名古屋大学内

5.10 連続セミナー

情報処理学会 連続セミナー 2015

『イノベーション最前線：押し寄せる変革の本質を探る』

遠隔会場お坂大学中之島センター 会場視察

5.11 ジュニア会員制度

「学生無料トライアル会員制度」が2015年度から「ジュニア会員制度」として全国に拡大し、年齢制限を引き下げて試行された。支部事業と連携して周知する。

5.12 支部運営委員の役割分担について

支部長 : 田中支部長 (支部を代表し, 支部を統括する)

副支部長 : 興水副支部長 (支部長を補佐し, 支部長が欠けたとき又は事故があるときはその職務を代行するものとする)

幹事 : 支部長を助けて支部の事業を遂行する

委員 : 支部長と協力して支部の事業の遂行を援助する

■業務別担当幹事

- ・総括担当幹事 : 小川幹事 (幹事の取りまとめ、会議資料案チェック)
- ・庶務担当幹事 : 陶山幹事 (総務、議事録作成)
- ・会計担当幹事 : 塚田幹事 (会計管理、事務局監督員)
- ・学生担当幹事 : 武藤幹事 (学生会員増強)
- ・広報担当幹事 : 北坂幹事 (支部HP管理、支部会員への広報)
- ・連合大会担当幹事 : 小川幹事 (実行委員)
- ・新規事業担当幹事 : 加納幹事 (小川幹事協力)

① □おもしろ科学教室

② 情報処理学会 連続セミナー2015

6. 2015年度予算

6.1 収入の部

(単位：円)

収入科目	2014年度（平成26年度）		2015年度（平成27年度）
	予算額	決算額	予算額
交付金	3,154,000	2,977,000	2,977,000
本部交付金	2,654,000	2,457,000	2,457,000
賛助金還元分	500,000	520,000	520,000
連合大会 収入	900,000	1,067,939	900,000
利息	100	27	100
前年度繰越金	1,430,057	1,430,057	1,512,659
計	5,484,157	5,475,023	5,389,759

6.2 支出の部

支出科目	2014年度（平成26年度）		2015年度（平成27年度）
	予算額	決算額	予算額
1. 事業費	2,670,000	2,019,973	2,856,000
支部連合大会費	1,100,000	1,155,917	1,150,000
講演会・研究会費(ア)	680,000	227,311	680,000
支部助成金費	100,000	50,000	100,000
支部表彰費	180,000	155,889	220,000
年次報告会費	360,000	265,310	320,000
おもしろ科学教室	0	0	110,000
連続セミナー	0	0	26,000
会議費	250,000	165,546	250,000
2. 事務費	1,965,000	1,942,391	1,965,000
通信費	10,000	9,818	10,000
消耗品費	20,000	9,031	20,000
郵便運搬費	10,000	5,246	10,000
雑費	5,000	216	5,000
事務委託費	1,920,000	1,918,080	1,920,000
3. 予備費	849,157		568,759
4. 次年度繰越金		1,512,659	
計	5,484,157	5,475,023	5,389,759

(ア) 講演会において海外を含む講師の招聘を考慮している。